

人に寄り添うデザインは、いかにして生まれたか。

フィンランドを代表する、
建築家でデザイナーのアルヴァ・アアルト。
色褪せない名作の誕生を陰で支えたのは、
最初の妻アイノだった――。

EUPHORIA FILM PRESENTS A VIRPI SUUTARI FILM "AALTO"
CINEMATOGRAPHY HEIKKI FARM & JANI KUMPULAINEN F.S.C. EDITOR JUSSI RAUTANIEMI F.C.E.
SOUND DESIGN OLLI HUHTANEN MUSIC SANNA SALMENKALLIO EXECUTIVE PRODUCERS ARTE G.E.I.E. YLE AVROTROS
PRODUCERS TIMO VIERIMAA, VIRPI SUUTARI, MARTTI SUOSALO WRITTEN & DIRECTED BY VIRPI SUUTARI
©Aalto Family

アアルト AALTO

アルヴァ・アアルト 生誕125周年 文部科学省選定(青年、成人向き)

配給:ドマ 宣伝:VALERIA 後援:フィンランド大使館、フィンランドセンター、公益社団法人日本建築家協会 協力:アルテック、イッタラ ©FI 2020 - Euphoria Film

DOMA VALERIA Finnish Institute in Japan FINNISH FILM FOUNDATION artek Oittala aaltofilm.com

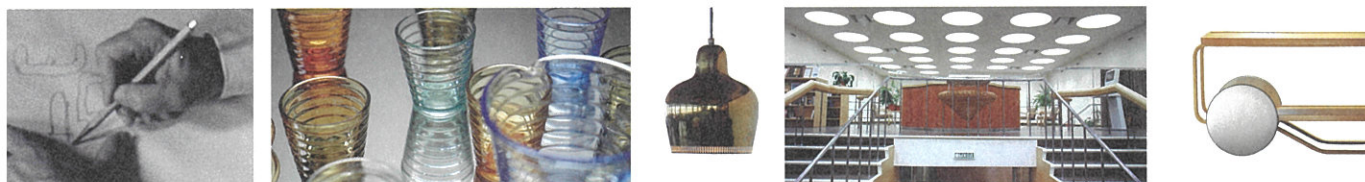


アアルトとは、どのような人物だったのか？



暮らし、社会、自然 —— すべてがデザインに繋がっていく。

フィンランドを代表する建築家・デザイナー、アルヴァ・アアルト（1898-1976年）。不朽の名作として名高い「スツール60」、アイコン的アイテムと言える「アアルトベース」、そして自然との調和が見事な「ルイ・カレ邸」など、優れたデザインと数々の名建築を生み出した。そんなアルヴァ・アアルトのデザイナーとしての人生を突き動かしたのは、一人の女性だった——。「幼い頃、アアルトが設計した図書館で過ごし、彼の建築の虜になった」と語るフィンランドの新鋭ヴィルピ・スータリが、アルヴァの最初の妻、アイノとの手紙のやりとり、同世代を生きた建築家や友人たちの証言などを盛り込みながら、アアルトの知られざる素顔を躍動感溢れるタッチで描き出す。主張しすぎない。けれど、側に置くだけで心が豊かになり、日常が彩られる。人と環境に優しいデザインで、現代の生活にも溶け込む逸品はどのようにして生まれたのか。2023年は、アルヴァ・アアルトの生誕125周年にあたる。アルテックの家具やイッタラのアイテムなど、後世に残る名作の誕生秘話も必見！



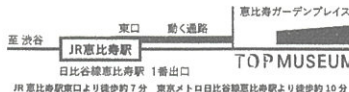
監督：ヴィルピ・スータリ 出演：アルヴァ・アアルト、アイノ・アアルト 他 日本語字幕：横井和子 字幕監修：宇井久仁子
原題：AALTO / 2020年 / カラー・モノクロ / スコープサイズ / ステレオ / フィンランド / 103分

AALTO

『アアルト』2023. 10/28(土)～11/26(日) 休映日：10/30(月)、11/3(金)、6(月)、10(金)、13(月)、17(金)～20(月)、23(木)
料金：一般1,900円 / 学生(大学・専門学校)、高校生1,500円 / 中学生以下(3歳以上)、シニア(60歳以上)、障害者手帳をお持ちの方(介護者2名まで)1,200円

上映時間：10:30(10/28～11/12) / 13:00 / 15:20

※全席指定 / 各回定員入替制 / 立ち見不可 / 事前予約不可



恵比寿ガーデンプレイス内
東京都写真美術館ホール
〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3
TEL : 03(3280)0099 URL : www.topmuseum.jp